

# 市立総合病院の増改築棟完成



市立総合病院では、年々増加する外来・入院患者や医療設備の充実に対応するため、施設の整備を進めていますが、五十八年度から二カ年事業で行われていた第三次増改築整備事業が完了し、今月二十二日にオープンします。

外来診療部門は  
10月22日にオープン

昨年十月から行われていた市立総合病院の第三次増改築棟が完成し、十月二十二日から小児科や整形外科などの外来診療部門が、そして十一月一日からは入院部門が新館で業務を開始することになりました。

同病院は、昭和四十五年の本館が完成、五十四年度は放射線棟、五十五・五十六年度で神経精神棟の全面改築を行って医療施設や機器の充実を図ってきました。三次増改築事業では、本館裏の人工透析室・伝染病棟などを解体し、その跡地に鉄筋コンクリート造り四階建て、延べ面積六千二百二十平方メートルの建物を、国民年金積立金か



- ▶ 1階—解剖室、霊安室、電気・機械室など
- ▶ 3階—泌尿器科、人工透析室、コンピュータ室、会議室、カルテ室など
- ▶ 4階—一般病室、結核病室、伝染病室

らの還元融資を受けて総工費十三億四千七百七十七万円で建設したものです。

一般病室は  
50床増に

増改築棟には、外来患者の増えている小児科や整形外科、眼科などの外来診療部門が移設されたほか、新たに水治療室も設けられ、一般病室(内科)も五十床増え三百七十五床となりました。

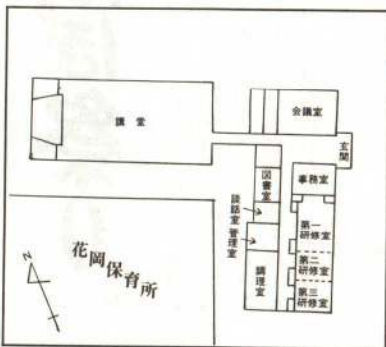
また、一部診療科が本館から増改築棟に移設されたことで、本館部分にも余裕ができるため、順次第二内科や婦人科、脳外科、事務室などの配置替えを行うことになっています。

## 花岡公民館改築に着手

花岡公民館の改築起工式が、今月四日行われ工事に着手しました。現在の花岡公民館は、昭和三十九年に花岡小学校の解体材を使用して建設されましたが、利用者の増加に伴い建物や駐車場が狭く、また建物の痛みもひどくなってきたことから改築されることになったものです。

新公民館は、現在地から約百メートルの花岡保育園の隣接地に、国民年金などからの還元融資をうけて総工費一億七千八百九十九万円で移転改築されるものです。

建物は、木造平家建て床面積九百三十三平方メートル、七十畳敷の研修室(三室に仕切ることが可能)や会議室、調理室、図書室、談話



室それに四百九平方メートルの講堂が配置されています。また約五十台を収容できる駐車場やゲートボールコートも造成されることになっています。新公民館は来年三月十五日の完成予定です。

## 土地取引きの参考に— 土地価格を公示

国土利用計画法による59年度分の地価調査基準地の標準価格が公示されました。市では市内11カ所の基準地地価を記載した図書を閲覧していますので、土地取引きの参考にしてください。

閲覧場所・市役所都市開発課、花矢支所、各出張所

住宅地・中道3丁目13-2	46,900円/㎡ (58年45,500円/㎡)
住宅地・片山2丁目97-5	30,500円/㎡ (58年30,000円/㎡)
住宅地・観音堂714-1	33,700円/㎡ (58年33,000円/㎡)ほか

## 市長の対話ノート

### 郷土おこし



No. 99

豊作が予想される収穫の秋、過去四年間とは違った期待に胸ふくらむ秋です。そして第十四回芸術文化祭がはじまり、産業祭が始まろうとしており「ふるさとのまつり」のまつりだ中といったところがです。

さて、その私たちの「ふるさとの良さ」を目と耳と肌、舌で感じとっていらっしゃる方がどれだけおられるでしょうか。伝統文化を守り、新しい創作を加えた芸術文化祭。農作物や林産物、そして付加価値を高めた加工物、鉱工業生産物、誘致企業生産物等、郷土で生まれ育っている産業生産物に一堂にふれる産業祭。これこそ「ふるさとを知る」年一度の絶好のチャンスでありますし、評価や批判、そして発展、飛躍のまたない機会です。

低迷する地域経済の活性化を願う市民は一人もいませんから、この「ふるさとのまつり」の中から、その活路を求めようではありませんか。郷土の実態を知らずに郷土を批評する資格はありません。同じように、郷土産品を使わずに、郷土産品を批判することはナンセンスといわれても仕方ありません。

これらのまつりは、郷土を知り、愛し、愛用する「郷土おこし」ですからごぞって参加しましょう。

留山健治郎